

# 特集2 電気自動車（EV）等の普及促進について

群馬県は国内でも有数の自動車社会です。県内で排出される二酸化炭素の内訳を見ても、運輸部門からの排出は約32%（平成20年度）と、全国の比率を約10ポイント上回っており、温暖化対策を進める上で運輸部門における対策が重要となります。

そこで注目されるのが電気自動車（EV）などの次世代自動車です。EVは走行時の二酸化炭素排出量が0であるなど、高い環境性能を備えておりその普及を図っていく必要があります。

## 1 群馬県電気自動車等普及推進連絡協議会

EV等の普及推進を目的として平成22年度に学識経験者、自動車メーカー、自動車販売会社、自治体などで構成する「群馬県電気自動車等普及推進連絡協議会」を立ち上げました。協議会では、「ぐんま環境森林フェスティバル」などの機会を捉えEV等の試乗会を実施している他、参加団体間の情報交換、充電インフラの整備などについて協議を行っています。

## 2 充電インフラの整備・情報提供

### (1) 急速充電器設置に対する補助

EV等の普及を進めるためには、充電インフラの整備が欠かせません。県では、「地域グリーンニューディール基金」を活用し、急速充電器（30分程度で80%の充電ができる設備）を設置する市町村に対し補助を行いました（計10か所）。

平成23年度末時点で、急速充電器の設置数（一般開放をしているもの）は29か所となっています。



県補助で吉岡町が設置した急速充電器

## (2) 充電インフラの情報提供

県では、環境情報サイト「ECOぐんま (<http://www.ecogunma.jp>)」を開設していますが、このサイト中で、県内で一般に開放している充電インフラの地図を公開しています（紙ベースでのマップも平成24年7月発行）。

こうした情報の提供により、既にEV等を購入した方だけでなく、これから購入することを検討している方に対しても、EV等の魅力をPRしていきます。



ぐんまEV・PHV充電マップ

## 3 三県知事会（群馬・埼玉・新潟）の取組

群馬・埼玉・新潟の三県の広域圏では、協働して取り組むべき課題について定期的に協議を行っており、「次世代自動車に関する共同研究」もその議題の一つに取り上げられています。

具体的な取組としては、三県を結ぶ国道17号に急速充電器を整備し、EV等が走りやすいモデル地域としてPRしていくこととしており、三県共通の充電スポット用ステッカーの作成や、国道17号の愛称<sup>\*1</sup>募集を行いました。

平成24年4月には新潟県朱鷺メッセにおいて、三県知事と大手EVメーカーの幹部の対談やEV等の展示・試乗を中心とした「EV・PHVサミット」を開催しました。



充電スポット用ステッカー

\*1 国道17号の愛称は「17エコ夢ライン」(い～なえこむらいん)に決定しました。「エコ夢」は越後国、上野国、武蔵国の頭文字で、古きものを大切にしたい上で、新しきものに变化させることの重要性をあらためて認識しながら三県をつなげるという思いを込めています。